かごしま近代化遺産パートナーシップ会議ファン拡大イベント

夏休み自由研究

マナップ 学UP! かごしまの宝(世界遺産)を探せ

参加費・入園料 無料

2024年7月27日 土

学芸員
小平田史穂氏

開 催 日

2024年7月27日(土) 10:00～12:00

場　　所

仙巌園　会議室　(入口にて集合)

参加人数

30名(小学5、6年生)　保護者30名 --- 無料

申し込み

7月20日までに右記のQRコードのホームページより申し込むか、裏面に記入の上、FAXにてお申し込みください。(先着順にて参加者を決めます)

1. お話を聞く

学芸員・小平田史穂氏による世界遺産の説明と注目点とテーマ探しのヒント

2. フィールドワーク

講演の内容とテキストをもって、仙巌園・尚古集成館・異人館等を巡る

3. 質問会

講師への質問や相談

※テキスト資料を配布

※注意：帽子、日傘、水筒をご準備ください。熱中症対策は自己責任でお願いします。
※世界遺産「明治日本の産業革命遺産」をテーマに 2024 年自由研究を小学校に提出されたものを審査し表彰を行います。(当イベントの参加不参加を問わず)

主催：かごしま近代化産業遺産パートナーシップ会議、上町タウンマネジメント　協力：尚古集成館
後援：鹿児島市、鹿児島市教育委員会、鹿児島ロータリークラブ、法人会上町支部
お問い合わせ先：上町タウンマネジメント運営事務局　TEL：070-5530-0168 FAX：099-247-2844

明治日本の産業革命遺産について

明治 5 年の磯地区（尚古集成館所蔵）

明治日本の産業革命遺産は、日本が 19 世紀後半から 20 世紀初めにかけて工業を発展させた重要な場所や建物です。2015 年にユネスコの世界遺産に登録されました。鹿児島にも、特に重要な構成資産が３つあります。

１つ目は、「集成館（しゅうせいかん）」です。ここは昔の薩摩藩（鹿児島県）の主、島津氏が造った工場群で、銃（じゅう）や大砲（たいほう）、船、糸を紡ぐ機械を使って製造・研究を行っていました。

２つ目は「寺山炭窯跡（てらやますみがまあと）」です。ここでは、鉄を溶かすための炭を作っていました。炭は鉄で物を作るのに必要な燃料で、この場所はとても大切でした。

３つ目は「関吉の疎水溝（せきよしのそすいこう）」です。これは、集成館に水を送るための施設で、工場を動かすために重要な役割を果たしました。自然の水を上手に使って工場に水を供給する仕組みで、当時のすごい技術を示しています。

これらの場所を訪れると、鹿児島が日本の近代化にどのように役立ったか、かつて薩摩藩がどのように西洋の知識を学び、自分たちの持つ技術と融合させていったかが、よく分かります。

今回は、小平田先生にお話を聞き、実際に仙巌園（せんがんえん）内の施設を実際に見たり触れたり、質問できたりします。とても面白いテーマなので、夏休みの自由研究にぴったりです！

上町タウンマネジメント事務局行き　FAX：099-247-2844

参加申込書

代表者名		参加人数（　　）名
連絡先	住所	電話

No.	氏　名	住　所	年齢
1			
2			
3			
4			
5			

※ ご記入頂きました情報は、今回の目的以外には使用いたしません。
※ 5名を超える場合はコピーしてご記入ください。